



# リユウキンカ

文責 窪田

## 平成30年度学校教育目標

### 豊かな心をもち自ら学びたくましく生きる子どももの育成

満開だった桜もいつの間にか若葉となり、風薫る5月を迎えようとしています。新年度が始まって一ヶ月が過ぎ、子どもたちは入学や進級の緊張から少しずつ解放され、それぞれの「自分らしさ」が感じられるようになってきました。

さて、平成30年度の学校教育目標を右記のように決めました。学校の全ての活動が、この目標を目指して行っていくこととなります。今後の教育活動をさらに効果のあるものにするために、家庭学習をはじめとするご家庭での取組やPTA活動、地域での行事などでもご理解とご協力をお願いいたします。

先の学校教育目標をもとに、各学級でそれぞれの児童の実態に応じて、さらに具体的に学級の経営目標を立てて学校生活を送っていくこととしております。

学校全体では、校訓「やさしく、かしこく、たくましく」に重ねて、以下のことを重点的なものとして取り組んでいこうと考えています。

### たくましく

教育の根幹に人権を据え、子どもにしっかりと寄り添い、一人一人を大切にした教育をすすめます。また、道徳の時間や人権学習等を通して、思いやりの心や地域を愛する心を育てていきます。

### かしこく

確かな学力をつけることは、学校の大きな使命の一つです。一人一人に応じた指導を工夫するとともに、それぞれに進んで学習する力をつけさせ、まずは基礎・基本がしっかりと身につくように指導してまいります。ご家庭では、家庭学習の習慣化にご協力ください。

### たくましく

それぞれの体力や健康状態に配慮し、健康教育（体力向上、食育、安全教育等）を通して心と体を鍛え、健康に関心を持ち、粘り強く取り組む子どもを育てていきます。ご家庭でも「早寝、早起き、朝ご飯」の推進などご協力をお願いします。

### 十 英語科・活動

平成32年度から小学校での英語教育が本格的に始まります。

あさぎり町内の小学校では、昨年度より国から「教育課程特例校」の指定を受け、先行して取り組んでいます。今年度も引き続き、学校を挙げて取り組んでいきます。もちろん、国語、我国の文化、郷土愛等を大切にしながら進めていきます。

### 特別支援教育の充実

「特別支援教育」とは、教育的ニーズのある子どもに対して、必要な支援を考え、その子に合った教育を行っていく取り組みのことです。教育的ニーズとは、例えば、学習面で個別の指導が必要な場合、集団になじめず困っている場合、食物アレルギー等があり健康面で心配な場合等、いろいろなケースがあります。

そして、その子の教育的ニーズに対して、学校と保護者が共に考え、適切な指導と必要な支援を行うことで、お子さんのよりよい成長につなげていく必要があります。

免田小では、特別支援教育コーディネーターを中心に、関係の教職員が相談しながら取り組んでいます。お子さんのことをご心配なことがありましたら、まず担任までご連絡ください。

保護者の方と担任との面談、また、学年主任や特別支援教育コーディネーター等も交えた面談の後、必要に応じた支援を計画し、実施していきます。

免田小学校の児童一人一人が自分の強みを活かし、少しでも楽しく学校生活が送れるように保護者の皆様と信頼関係を築きながら、よりよい教育活動を進めていきます。